

2. 福生市の現況

福生市は、東京都の多摩西部、都心から約40kmのところにある、多摩川の左岸の河岸段丘上に南北に横たわるまちです。市域面積は10.24km²（東西3.6km、南北4.5km）ですが、市の東側にある横田基地が市域の約3分の1を占めており、基地を除いた面積は約6.92 km²になります。この基地を除いた面積で見ると、都内26市の中でも2番目に小さい面積となります。

市街地は、福生駅を中心に市の全域に広がっており、羽村市、瑞穂町、昭島市、立川市、武蔵村山市、多摩川を隔ててあきる野市、八王子市の7市町に接しています。

(1) 自然条件

①地形/地質

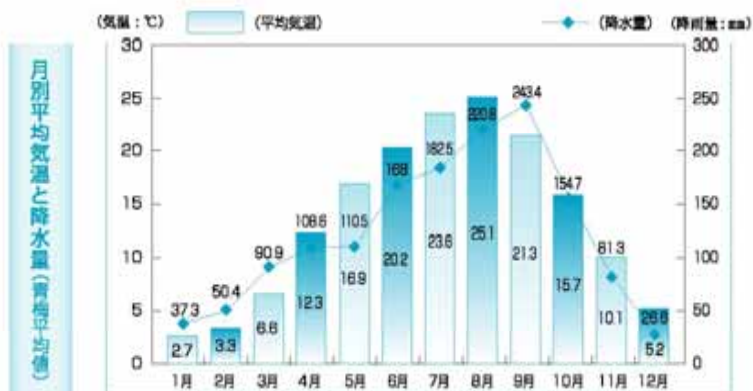
地形は、多摩川に向けて東から西に3段（立川段丘～押島段丘～低位段丘）をなして傾斜した平坦地で、低いところで海拔104m、最も高いところでも143mとなっています。

地質は、関東ローム層が大部分を占め、多摩川の低地は沖積土となっています。

②気象

近隣地区の気象データを見ると、夏季の多雨、冬季に乾燥する太平洋岸気候の特徴を示しており、年間平均気温は13.6℃、年間降水量1,475mmとなっています。（なお、市内では継続的な気象データの観測が行われていないため、青梅地域気象観測所の平年値※データを用いています。）

※平年値とは直近までの30年間のデータを平均した値



(2. 福生市の現況)

下図は、青梅の気象観測所日射量データです。この地域で、年間を通じて最も多く日射量を得られる角度（年間最適傾斜角）、南向き32.3度に対して降り注ぐ日射量を月別に記したものです。年間平均で3.77kWh/m²日という日射量は、全国平均を若干下回るものです。



③市内の風況

福生市の風は年間を通じて秒速4m程度となっています。年間を通じて、強い風があまり吹かない穏やかな環境です。

高度別に見た年間平均風速（福生市※）

地上高70mの風速（大阪万博「太陽の塔」の高さ）	4.4 m/s
地上高50mの風速	4.1 m/s
地上高30mの風速	3.6 m/s

※北緯35° 44' 6"、東経139° 19' 36"

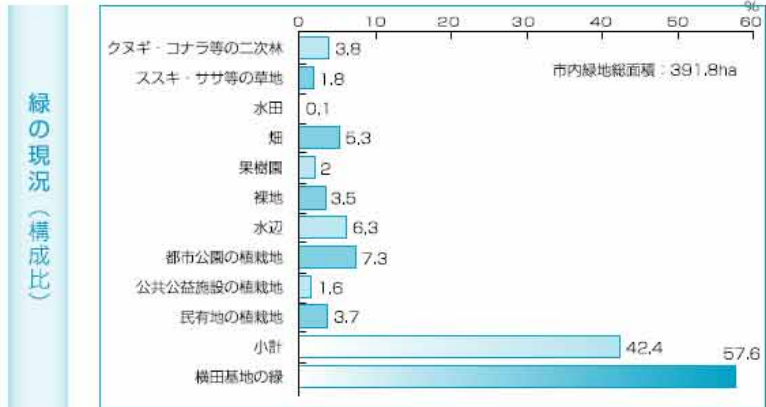
NEDOデータベースより引用

(2. 福生市の現況)

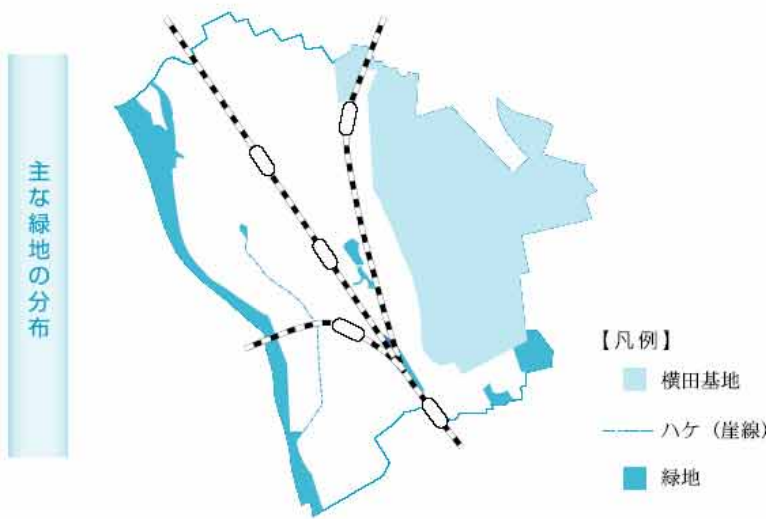
④緑の現況

福生市には様々な緑が存在しており、緑地面積の合計は391.8haとなっています。しかし、この半分以上が横田基地内の緑地（57.6%：225.8ha）になっており、日常生活を通して市民が親しめる緑地は225.8ha（42.4%）です。

このうち、“クヌギ・コナラの二次林”“水辺”“都市公園の植栽地”“公共公益施設の植栽地”“民有地の植栽地”などが、いわゆる平地林や雑木林に相当すると考えられ、その合計は88.4haに達しています。



福生市緑の基本計画より



(2. 福生市の現況)

(2) 社会・生活環境

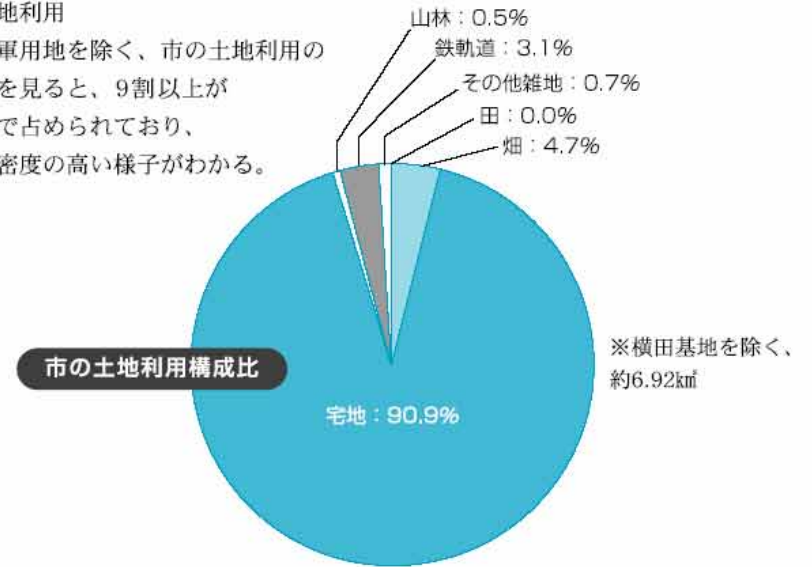
①人口

下図は『福生市総合計画<2000（平成12）年3月>』に掲載されているデータです。福生市の人口は6万人代前半で推移しています。



②土地利用

米軍用地を除く、市の土地利用の様子を見ると、9割以上が宅地で占められており、人口密度の高い様子がわかる。



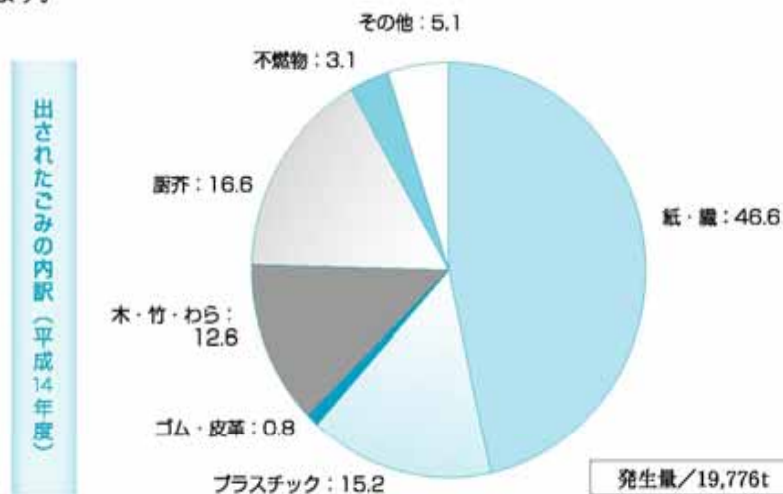
③ゴミ発生量

市内のゴミ発生量は年々減少する傾向にあり、1997年（平成9）年から、2002（平成14）年度の間に92.5%に量が減っています。

なお、最も多い量を占めるのは“可燃ごみ”で、2002（平成14）年度の実績を見ると65.6%となっています。



ゴミの内容物の構成比を見ると、最も多いのは紙・繊維の46%で、ほぼ半分を占めています。



(3) 産業

市内の産業を出荷額、販売額ベースで概観すると、額の大きいのは小売業、卸売業、製造業の順になっており、さらに農業産出額が他に比して僅少ですが、4,000万円です。



①小売・卸売業

小売業と卸売業の年間商品販売額の推移を見ると、前者は年々縮小する傾向にありますが、後者は増加傾向にあります。

